

目 次

一 下 卷 一

第VI章 同次方程式系

§ 4. 同次方程式系の解の指数函数表示	279
§ 5. 準楕円型作用素	289
§ 6. ユーシー問題の解の一意性	305

第VII章 非同次方程式系

§ 7. 非同次方程式系の可解性, M -凸性	312
§ 8. 凸領域の M -凸性	324
§ 9. M -凸性と同次方程式系の解のなす層の性質との関係	343
§10. M -凸性の代数的条件	366
§11. M -凸性の幾何学的条件	379
§12. 整型領域での $p(D_{\xi})$ の形の作用素	389

第VIII章 優決定系

§13. 加群 $\text{Ext}_i(M, \mathcal{P})$ に関するいくつかの情報	406
§14. 同次方程式系の解の接続	425
§15. 領域内部における解の挙動に対する境界値の影響	452

付 錄

線形位相空間の圏における射影極限函手

§ 1. 序	465
--------------	-----

§ 2. 位相群の圏	467
§ 3. 位相群のスペクトルの圏	468
§ 4. 極限函手	473
§ 5. 補助的な定義と構成	476
§ 6. 十分に多くの単射的対象をもつ圏	480
§ 7. 函手 Pro の導來函手, 代数的な場合	483
§ 8. 位相的な場合, 函手 Pro	486
§ 9. 函手 Pro の導來函手	488
§10. 函手 Pro_i の計算	491
§11. Pro_0 および Pro_1 が零になるための必要十分条件	494
§12. 諸例	500
付録に対する文献	510
 注釈と文献案内	512
 文献	522
 ロシア人名表	537
 訳者付記	538
 訳者付記文献表	541
 記号表	544
 索引	546

*), **)...は原著者注, †) †)...は訳者注

